

2012年(平成24年)5月3日 木曜日

# 県の新しい公共の場づくり

## モデル8事業を採択

2500万円へ  
助成

徳島県は2日、「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」に、県内のNPOや住民団体が提案した8事業を採択し、と発表した。事業を行う8団体に計2500万円を助成する。

10団体から応募があり、8団体の事業を選んだ。採択されたNPO法人子

育て支援ネットワークとくしまの「赤ちゃん和小中高生とのふれあい交流事業」は、児童生徒に赤ちゃんとの触れ合いを通じ命の尊さを知ってもらう。外国人をサポートする「JTMとくしま日本語ネットワー」の「帰国・外国人児童生徒サポートシステム開発モデル

事業」は、帰国子女や外国人の子どもの日本語教材を作成したり、日本語指導者の養成講座を開いたりする。(岸和弘) このほかの事業と団体は次の通り。万代中央ふ頭「港にぎわい空間創出実証実験」推進モデル事業(NPO法人アクア・チッタ)▽遊休資源を活用した三段

跳び集落居住ビジネスモデルの構築(美しい集落推進協議会)▽市民フリースマーケットによる鴨島駅前低炭素型にぎわい創出プロジェクト(かもじま駅前まちづくり会議)▽JCI在宅就業支援センターをICT基盤としたテレワークによる地域雇用の創出(NPO法人ジェイシーアイ・テレワークーズ・ネットワーク)▽絶滅危惧種カワバタモロコの保全促進のためのモデル事業(県土地改良事業団体連合会)▽「文化の支え手」育成事業(ホールボランティアの会)